

音更町男女共同参画計画審議会会議結果（要旨）

会議名	第2回音更町男女共同参画計画審議会
開催日時	平成26年6月26日（木） 午後7時から午後9時00分
開催場所	音更町役場庁舎4階401・402会議室
委員出席者	岡庭会長、山本会長職務代理、中塚委員、酒井委員、相澤委員、植田委員、池田委員、鳴海委員、山田委員、石山委員
町側出席者	高木企画財政部長、渡辺企画課長、定村企画調整係長、高田企画調整係主任、阪本企画調整係主任、松原企画調整係主事
議題・諮問内容	<p>1 会長あいさつ</p> <p>2 議第 (1) 国、北海道及び十勝管内市町村の計画体系について (2) 音更町まちづくり基本条例及び第5期総合計画における男女共同参画について (3) 男女共同参画町民アンケートの結果について (4) 計画の骨子（目標）について（意見交換）</p> <p>3 その他</p>
会議資料	(資料1) 国、北海道及び他市町村の男女共同参画に関する計画体系 (資料2) 音更町まちづくり基本条例及び第5期総合計画における男女共同参画について (資料3) 男女共同参画に関する用語集 (資料4) 男女共同参画に関する新聞記事 (別冊1) 平成25年度音更町男女共同参画に関する町民アンケート調査結果
出された主な意見等	<p>（DVについて）</p> <p>委員：私の感覚ですが、急がないといけないことと、ゆっくり考えて進めても良いものがあると思います。恐らく、教育に関する事などはしっかり時間をかけて進めていく方が良いと思います。ほとんど、書いてあることと同じ事しか言っていないと思いますが。</p> <p>私自身では学校の中で差別があったとは感じませんが、それを感じる方も中にはいると思いますし、それを变えらるとなると教育から変えていくしかないのかなと思いますし、年配の方の理解も必要だと思います。今の子供たちが教育を受け、その子達が大人になった時にその効果が出てくるのかなと思います。また、急ぎに関してはDVで、現実に今困っている方もいると思います。教育のように長期間で考えることはできないと思います。音更町と同じ規模の自治体の成功例などを見ながら早急に実施していくことが必要だと思います。プロセスや期限を設けてでも早急にやるべきだと思います。中札内村のように独自性を出すことも大切ですが、答えが出ているものは直ぐに取り組み、その中で少し余裕が出たら音更町の部分を進めるとしていかないと、本当に困っている方もいます。</p> <p>会長：ありがとうございます。本当にその通りだと思います。</p> <p>委員：あとは、責任をとる人の覚悟といいますか、何か新しいことをする時は色々な弊害がでますし、良いことと思ってしてみても使い方や受け止め方によっては違う風に取りられることもありますので、それら全てを理解した上で必要だから執行するという覚悟もないと難しいと思います。</p> <p>委員：DV被害者の保護やその後の自立支援について、十勝は随分進んでいますので、その件に関しては救えない状況では無いです。ただ、各市町村の対応には大きく違いがあります。音更も人口が45,000人いるので本当なら帯広市のように女性相談員がいたら良いなと思います。また、毎年音更町の被害者を保護しますし、保護件数がゼロの年はありません。一時保護する方は割と生命に危険がある方です。やはり相談する場所が分からない方が多いのも問題ですし、音更町の方が保護されたら音更の担当者がいますが、たぶん皆さんはその相談員が誰なのかはご存じないと思いますが、それも問題だと思います。その方は、とても熱心に取り組んでくれてますし、他に住んでいる被害者が音更町に住むことになりましたら、その担当相談員がワンストップサービスとして教育委員会、学校、保育園、生活保護などの担当者を集めてくれます。私が思いますのは、音更町はもっと相談員が必要で、木野コミセン等で第何週の何曜日に相談窓口を開いていますとありますが、DV被害者は予定を立てて相談窓口に行くことは難しいことです。実際は、「加害</p>

者がいない今相談を受けたい」が現実です。予定は立てられませんので、その様なことにも対応できる窓口があれば良いと思います。

十勝に関しては、民間や警察も含めて行政間の連携は全国でモデルになるくらい一番です。ですから、警察に飛び込んでも一時保護ができる体制が整っていますので、それほど緊急ではないのかなと感じています。

(子育て支援について)

委員：女性で働きたい方はたくさんいると思います。仕事をしていく中で保育期間で幼稚園や保育所は割と遅い7時8時まで預かってくれますが、学童保育園については遅くまで預かってくれません。そのあたりに関しましては女性が働きにくい環境であると思います。朝9時から夕方6時まで終わる仕事なら問題ないのですが、色々な職種があり午後から夜の8時、9時まで働いているお母さん方もいますから、そのあたりも整備していく必要があると思います。

会長：子育て支援の評価の部分にも入ってくると思います。

委員：計画体系について、「方針」と「施策の方向」の場合は、方針に入れた方がより強いという意味なのでしょうか。

会長：前に出すということは、1つはその方針の下に施策の方向もあるわけなので、広がりとして方針の方に入れた方が具体的な内容が増えます。もう1つは、町としての決意や方針が出せるということですね。

委員：子育て支援を方針に入れたいですね。

委員：今家庭での個人的な子育て支援がありますよね。そういうところにもう少し支援をして、その経営者が良ければ延長などもできると思うので、女性が働きやすくなると思います。どうしても子どもがいると時間的に拘束されてしまい働きづらくなります。

委員：私も仕事している時に5時6時なので、毎日仕事後に走って迎えにっていました。

委員：うちのところも、お嫁さんが仕事をしていて、仕事が終わったら6時過ぎると30分単位でお金がかかるので、冬道でもかなり車を飛ばして迎えにしています。延長のお金は何百円なんだろうけども、それが積み重なると負担になってしまう。時間というのはお金がかかってくる部分なんだろうけども、そういった部分もなんとかならないかと思っています。

委員：私が今勤めているところでは、子どもが生まれる前の問題で、高校生の卒業生を受け入れているんですが、4月に入社して6月にはもう妊娠して仕事ができない。妊娠がわかったら、夜勤はさせられない、重い物は持たせられない、長時間立たせられないという色々な制約が出てくる。そうすると、その子を守りながら、自分の現場をこなすとなると、限られた人数の中で周りのスタッフが気を遣って肩代わりをするんですが、産める現場にしてあげたいと思っていますが、非常に厳しい現実もあります。

委員：職場によって違いますよね。

委員：私は病院でも働いていましたが、看護師なんかは8か月くらいまで仕事でしたが、介護の現場はかなり重労働なので、なかなかそんなことはさせられない。そんな中で現場に残ってもらうためには、性教育も含めてどうしたら良いかと考えています。厳しいですが、入社したときに現実の話もさせてもらって、妊娠するということがどういうことなのか説明しています。

会長：うちの学生も介護の現場に就職してすぐにそういう話をされたと言っていました。大事なことなんだと話していました。

委員：人数が多いところならまた違うでしょうが、人数が少ないので厳しいです。これは企業の方も厳しいし、もう少し性や、育児をするということに対して、学校教育でも教えて欲しいと企業側としては思います。

会長：そうすると、男性の方の問題もあると思いますので、女性が専門職として意識を持っていても、パートナーの男性も理解していないと難しいですね。

女性の意識も男性の意識もありますし、職場の方も変わっていかねばならないと私自身強く感じました。なので、この計画に介護というのは大きなテーマの1つとして入ってくるのではないかと思います。

(女性の就職・再就職について)

委員：私の農家の先輩のお嫁さんが病院で働いていて、そこに託児所がついており、職員がそこに預けて仕事が終わったら連れて帰るということをやっているところもあると聞きました。

委員：昔は、やはり女の人はずいぶん仕事を辞めていきました。今は女の人が働き続けることは自分自身もあるし、周りの影響もあるので、条件が揃っているかどうかというところはあるんですが、条件が揃っていてもなかなか簡単なことではありません。先生や医者などはそういうのが揃っているかもしれませんが、底辺の私たちはなかなか難しいと思います。

今は元気な高齢者が沢山いるので、そういう人を活用できないかと思います。タダではなく、低賃金でそういう人を活用して子育て支援できないかと思います。どこの町か忘れましたが、そういう施設を作って、老人も子どもの活力を得られるという例を見たことがあります。老人もまだまだ社会に役立つ場所があれば良いと感じます。

委員：自分におきかえて、自分の育ってきた環境を考えたときに、自分の親は亭主関白でした。酪農家で父親も母親も働いているのに、母親がご飯を作るという環境で育つと、そういうものなんだという意識がついてしまいます。教育現場も大事ですが、家庭で母親を労るような姿を見せるのが大切ではないかと思います。

委員：男の人にも制度上介護休暇など取れるようにはなっているが、実際には女の人でないと取りづらく、取っている人が圧倒的に少ない状況です。よっぽど職場に理解してもらわなければ取れません。

委員：町職の方々がどれくらいとっているかわかりませんが、そういう所が先頭を切らないと、なかなか一般の企業まではいかないと思います。

会長：行政が先陣を切ってやっていかなければならない分野というのは明らかにありますので、そういう所はしっかりやっていただきたいと思います。

